

令和6年度 数学科 授業改善推進プラン

大田区立蒲田中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ 2年生の正答率が上昇した。日頃から小テスト等で基本の定着を図れたものであると考えられる。
- ・ 3年生は「思考・判断・表現」の数値が目標値に近い結果となった。問題を解く際には、方針を考えながら問題に取り組む姿がある。

(2) 課題

- ・ 1年生の数値が目標値よりも下回っている。演習量を増やし、基本的な問題への対応を増やして、点数をとるといふ成功体験を積ませたい。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第1学年	目標値を下回っている	/	/
第2学年	目標値を上回っている	目標値を下回っている (第1学年時)	/
第3学年	目標値を下回っている	目標値を若干下回っている (第2学年時)	目標値を下回っている (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を下回っている	目標値を下回っている	目標値を下回っている

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を上回っている	目標値を下回っている	目標値を若干下回っている

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を下回っている	目標値を若干下回っている	目標値を若干下回っている

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度コース別の小テストをこまめに実施し、理解状況を把握する。 ・授業内での数学的用語を使った説明を行い、知識の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・途中式を書かせる。 ・途中の過程もしっかり考えさえ、既習事項がどのように活用されているのかを確認させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト、定期考査、毎時間の授業で学習内容のまとめや振り返りを実施し、次単元の学習へとつなげる。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度コース別の小テストをこまめに実施し、理解状況を把握する。 ・基礎的な計算を反復練習する時間を多く設け、計算力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・答えが合っているか合っていないかだけでなく、「なぜ式がこうなるのか」や「この式はどういうことを表しているのか」を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業終わりにその授業で学習した基本的な問題を出し、1人1人チェックすることで全体の授業内容の定着度を確認する。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別の小テストを実施して、基礎の定着を図る。 ・計算などの練習問題の時間を多めに取って反復練習を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・答えにたどり着くまでの過程を大切にして、なぜその答えにたどり着くのかを理解させ、自分の言葉で説明できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを行うときには、解き方などのポイントをまとめるようにして、その日に行った授業が定着できるようにする。